

平成31年第1回当別町史編さん委員会 会議概要

出席者 町長、副町長、教育長（途中退席）

事務局：館田総務部長、長谷川総務課長、五東総務係長、山岸主事

：山崎教育部長、小出社会教育課長、三浦主幹、下村主任

：倉田歴史研究専門員

委員：竹田氏、松尾氏、白井氏、野口氏、大口氏、曾川氏、大畑氏

1 開 会 長谷川総務課長

2 挨拶 宮司町長

3 委員紹介 長谷川総務課長

4 議 事

(1)委員長及び副委員長の選出について

委員の互選により、竹田委員を委員長に、松尾委員を副委員長に選任した。

(2)当別町史の編さん方針について

事務局より説明方針について説明し、町史の編さんについては、今後10年以上かかると思われる歴史の研究と町史の編さんを分け、今回の町史編さん委員会については、100年史以降の50年間を当別町史として編さんすることについて提案し、当別町史の編さんについては、100年史以降の101年目から150年までの50年間を中心に編さん作業を進め、歴史の研究については、今後も町において進め、新しい史実の発見等があった場合については、その都度委員会に報告をもらうことで了解を得た。

5 その他

事務局より今後の当別町史編さん委員会のスケジュールについて説明し、資料の収集について速やかに取り掛かり、執筆作業については、2019年度中に編さんに関する業者と契約を結び進めること、編さんに関する方針の決定、目次等に関する編さんの柱の作成について、委員より意見を聴取しながら進めることを説明。上がってきた原稿について、内容が適正であるか、歴史考察が誤っていないかについて委員に確認をしていただき、編さん作業を進めること、歴史の研究については、古文書の解析、資料のまとめ作業を進めることを説明した。

委員より以下の質問があった。

(委員)

101年から150年までの新たな町史を作ることについては賛成だが、100年町史については年号や内容の間違いがあり、こちらも訂正してほしい。

(事務局)

年号の間違いについて、修正する必要があると考えている。内容については、当時編さんした方を尊重する意味でも、間違いを指摘するのではなく、新たな史実や資料が見つかった

ものについて追記したものを別冊資料編のような形で発行したいと考えている。

(委員)

平成23年3月の発刊時期は決定事項か。

(事務局)

これはあくまで案であり、最短でこのスケジュールというイメージである。

(委員)

委員は最後までこのメンバーなのか。事務局は異動があるが。

(事務局)

委員の任期は、編さんが終了するまでとなっている。事務局の職員については異動があるが、引継ぎをきちんと行う。

(委員)

前回の編さん委員は、史実を書く委員がいた。今回はいないと思うが、編さん方法はどのような方向になるか。

(事務局)

今回の委員さんの役割については、文章を書いていただくことは想定していない。101年から150年までの資料はかなり集まってきたので、集めたもののどの部分を町史に載せるかを定めることが大きな役割のひとつになり、目次の構成をしてもらうことになる。筆耕については、委託を行って専門家に書いてもらい、委員会の中で大きな枠での加筆や修正をってもらうことを想定している。

(委員)

町史の章立てや書き方は様々あると思うが、「教育、産業、行政」など百年史のような形になるのか。

(事務局)

柱立てについては、今後の編纂委員会の中で協議して決めていく。百年史はベースになると思うが、そのままだでもいけないので、しっかりと精査して項目を検討していくことになる。

次回会議の日程を3月27日水曜日とし、閉会した。